

新平出博物館基本計画（案）に対するパブリックコメントの結果

新塩尻市立平出博物館基本計画（案）について、パブリックコメント手続きを実施したところ、市民の皆様から貴重なご意見をお寄せいただきありがとうございました。

お寄せいただきましたご意見等につきまして、塩尻市の考え方をまとめましたのでお知らせします。

1 パブリックコメント概要

(1) 意見募集期間 令和5年5月19日から令和5年6月8日まで

(2) 担 当 部 署 生涯学習部平出博物館

(3) 資料の公表場所 平出博物館、各支所、市ホームページ

(4) 意見の提出方法 書面、郵便、FAX、電子メール

2 意見の提出者数 3人

3 意見総数 17件

No.	ご意見の概要	市の考え方
1	・貸出する簡単な通信器具や携帯電話、タブレットなどでQRコードをスキャンして展示品や遺跡公園内の復原住居などの情報を取得出来るようにする。	・遺跡公園では現在も一部にQRコードを示してあります。今後、展示資料についても随時実施したいと考えます。

2	<ul style="list-style-type: none"> ・学芸員の案内によるバックヤードなどの見学などを行うようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・より多くの方が地域遺産を身近に感じるようバックヤード見学ツアーを実施したいと考えます。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・大型画面による平出遺跡と周辺の紹介映像や平出集落に点在する古民家、神社、平出の泉、一里塚、石仏などを見て歩く文化財めぐりなどをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平出遺跡周辺の紹介については、今後、手法を含めた実施について検討していきます。 ・古民家や神社、平出の泉等を見て歩く文化財めぐりは、古民家を含むため、平出区やお住まいの方との調整のうえ、実施を検討します。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・点字や外国語の説明、タッチパネルを使った映像やAI、VR、3D、アニメーション、アバターにより、子どもたちにもわかりやすく楽しく学習出来るようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報バリアフリーに努めていきます。 ・VR、3D等の映像は陳腐化が早いため、設置経費及びランニングコストを精査し、導入の有無を検討します。
5	<ul style="list-style-type: none"> ・学習室とガイダンス棟との連携で野外での土器作りや野焼き、黒曜石の加工などの体験や音楽活動、絵画、写真、コレクションの展示、プロジェクターで投影出来るシアターなどと、つる籠作り、竹馬を作ったり、駒回し、かるたなど民俗伝承などに活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・野外学習や異種分野の展示は実施したいと考えております。 ・プロジェクターでのシアター機能は導入費用及びランニングコストを精査し、導入検討していきます。 ・民俗伝承については、指導できる人材が少なく、苦慮しております。良い人材がおりましたら、ご連絡ください。
6	<ul style="list-style-type: none"> ・また、地域の緊急避難所などとして利用出来るようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新博物館は資料のセキュリティー上の観点や非常用トイレの設置を見込んでいないことから、緊急避難所としては利用できませんが、遺跡公園は現在も指定緊急避難場所として指定されております。
7	<ul style="list-style-type: none"> ・敷地内に古代の田畑を作り、古代米、蕎麦やどんぐり、くまびとを収穫してクッキーなどを作るような調理出来る施設を作る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・古代の調理方法は基本的に野外で行われていたため、博物館内に調理施設を設置する計画はありませんが、野外での調理方法について検討していきます。

8	・館内からリモートカメラを使い平出遺跡全体的を見られるモニターを設置して、雨降りなどでも見学ができるようにする。	・現物資料にこだわることであり、雨の日はどんな生活をしていたのかを外で感じていただきたいため、リモートカメラ及びモニターの設置計画はありませんが、雨天の見学について検討していきます。
9	・仮想空間で古代の気象状況などの生活体験と平出遺跡公園で見られる四季の星空を再現出来るようにする。	・現物資料にこだわることであり、仮想空間での再現は計画していませんが、古代の気象状況について、どのように伝えるか検討していきます。
10	・出土品展示方法の工夫として、その作品の前に立つと、バーチャル空間が出現し、選択肢により、選んだ体験ができる方式を取り入れる。	・現物資料にこだわることであり、バーチャル空間の製作は計画していませんが、設置経費及びランニングコストを精査し、導入の有無を検討します。
11	・なぜ、塩尻のこの地に古代人は選んで住んだのか。地形？水？旅人？の往来に便利だったのかをわかりやすい言葉と映像で紹介（四季折々の風景と共に～春の桜、秋の紅葉）	・平出遺跡の5000年の継続性と人々の営みを紹介する予定です。今後、その手法について検討していきます。
12	・塩尻は交通の要。中山道、権兵衛街道、五千石街道、善光寺街道（北国西街道）、仁科街道（千国街道）、三州街道（伊那街道）をバーチャル空間で歩くことができる。・牛首峠・小野峠も紹介する。	・街道文化について紹介する計画となっていますが、詳細な内容については検討していきます。
13	・ワイン試飲	・来館者の交通手段の確認を取るための人員や設置費用等から、ワインの試飲コーナーの設置は難しいと考えますが、今後の検討事項とさせていただきます。
14	・塩尻市は、イタリアの地形になんとなく似ているような気がする。	・塩尻の地形の紹介については、手法も含め、検討していきます。

15	<p>・縄文土器等の展示物の案内名称の記載について、難しい漢字には「カナ」（仮名）をふって、解説を記載してほしい。</p>	<p>・子どもに分かりやすい展示手法として検討します。</p>
16	<p>・展示物の地震対策も計画の中で検討したらどうか。</p>	<p>・引き続き、地域の宝である展示物の地震対策を行っていきます。</p>
17	<p>・塩尻市で発掘された展示物の発見場所の表示については、場所まで表示したらどうか。</p> <p>〇〇で発掘された柴宮銅鐸</p> <p>〇〇で発掘された菖蒲沢瓦塔</p>	<p>・地域に愛着を持てる展示手法として検討します。</p>